

## 意見聴取における保護者等からの主な意見（公表済資料より）

区分	保護者等からの主な意見
<div data-bbox="148 320 346 409"> <b>幼児児童生徒 の生活指導</b> </div> <div data-bbox="199 566 333 656"> <b>生活指導 全般</b> </div> <div data-bbox="199 1451 301 1496"> <b>寄宿舍</b> </div>	<div data-bbox="379 427 1437 752"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校では、洗濯や簡単な調理等の指導をしてくれており、グループホームでも生活の支援をしてくれていた。学校における学習と共に、自宅でも子供ができることをやることが大切である。</li> <li>・ 自立には、自分からやろうとする気持ちと、相手を思いやる気持ちを育てることが大切である。</li> <li>・ 訪問教育学級に在籍する子供については、障害の状態等に応じてスクーリングの回数を増やしてほしい。</li> </ul> </div> <div data-bbox="379 808 1437 2096"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 寄宿舍指導員は、子供の発達レベルに合わせ、工夫をしながら入浴、歯磨き、洗濯の仕方など、日常生活に必要なことを繰り返し教えてくれる。</li> <li>・ 生活訓練施設を活用しても、学校の限られた時間とカリキュラムの中では、寄宿舍で得られるような生活の学びを身に付けることは困難である。</li> <li>・ 養育が困難な家庭の子供に対し、在学中に学校、寄宿舍が連携して指導し、卒業後はグループホームで自立した生活を送りながら意欲的に就労施設で働いていると聞いている。</li> <li>・ ひとり親家庭では、思春期の我が子への対応に悩むことが多いが、寄宿舍指導員や舎監の先生方が父親、母親代わりとなってサポートしてくれる。</li> <li>・ 寄宿舍では、学校教育とも連携して、友達との関わり方を学べる。寄宿舍の中に私たちが求める共生社会があると気付いたので、現時点での閉舎はあり得ない。</li> <li>・ 学校での自立に向けた授業に加え、寄宿舍も利用できるのは、寄宿舍が設置されている学校に在籍しており、入舎要件に合う一部の子供のみであるため、不公平さを感じる。寄宿舍の有無に関わらず享受できる特別支援学校の教育の充実を願う。</li> <li>・ 寄宿舍の存続を議論する前に、様々な障害のある子供のための教育環境を整えてほしい。</li> <li>・ 寄宿舍でなければ自立できないという意見には疑問を感じる。家庭、教育、福祉の三者が連携すれば、寄宿舍がなくても自立できる。</li> <li>・ 閉舎に反対する意見だけが目立つので、閉舎に異論のない保護者の意見もすくいあげてほしい。</li> <li>・ 寄宿舍に関する課題を早く解決し、学校が教育活動に専念できるようにしてほしい。</li> </ul> </div>

<b>家庭、教育 及び 福祉の連携</b>									
<b>学校と 家庭の 連携・ 保護者 支援</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者と教員が共に話し合える関係性が大切である。</li> <li>・保護者同士が集まる機会があると、情報交換ができ、安心できるので、そうした機会がより増えるとよい。</li> </ul>								
<b>学校と 福祉の 連携</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業後の生活につなげられるよう、在学中から福祉事業所等との関係性を構築していくことが大切である。</li> <li>・学校や障害福祉サービス事業所の支援者が、子供の特性や必要な支援を共有し、途切れずに支援ができるシステムを広げてほしい。</li> <li>・障害児のショートステイを実施している障害福祉サービス事業所は限られていて、特別な事情がある家庭だけが優先して使える状態である。レスパイトとして使えるよう充実してほしい。</li> <li>・医療的ケア児が使える障害福祉サービス事業所は、ショートステイはおろか、放課後等デイサービスもほぼない状態のため、充実してほしい。</li> <li>・高等部卒業後に利用できる障害福祉サービス事業所が少ない。障害が重度の子供も含め、受入先を増やしてほしい。</li> <li>・障害のある人がスポーツを楽しむことができるなど、余暇活動の場や情報があるとよい。</li> </ul>								
<b>その他</b>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="193 1352 359 1464"> <b>通学</b> </td><td data-bbox="359 1352 1463 1464"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校に送迎をしている保護者がいるが、兄弟姉妹の保育園への送迎が必要な方もいるので、スクールバスの拡充をしてほしい。</li> </ul> </td></tr> <tr> <td data-bbox="193 1464 359 1756"> <b>施設設備</b> </td><td data-bbox="359 1464 1463 1756"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食堂棟が狭く、老朽化している。全員が使用するものなので、アレルギー食等の対応がきちんとでき、子供や保護者にとって安心安全な食堂となるよう最優先に改修してほしい。</li> <li>・知的障害の特別支援学校でも、車いすの子供が動きやすいよう、校舎のバリアフリー化などの対応を充実してほしい。</li> </ul> </td></tr> <tr> <td data-bbox="193 1756 359 1868"> <b>医療的 ケア</b> </td><td data-bbox="359 1756 1463 1868"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケアが必要な子供について、保護者の付き添いを減らすことができるよう、学校看護師の配置など、必要な支援をしてほしい。</li> </ul> </td></tr> <tr> <td data-bbox="193 1868 359 2116"> <b>インクルー ーシブ 教育シス テム</b> </td><td data-bbox="359 1868 1463 2116"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害のある子供と買い物をしている際、好奇の目を向けられることがある。障害のある子とない子が長期的に一緒にいることで理解が深まると思うので、居住地校交流の回数を増やし、継続的に実施してほしい。</li> <li>・小学校や中学校等の授業の中で、いろいろな子供たちがいることを柔らかに伝えていくことも大切である。</li> </ul> </td></tr> </table>	<b>通学</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校に送迎をしている保護者がいるが、兄弟姉妹の保育園への送迎が必要な方もいるので、スクールバスの拡充をしてほしい。</li> </ul>	<b>施設設備</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食堂棟が狭く、老朽化している。全員が使用するものなので、アレルギー食等の対応がきちんとでき、子供や保護者にとって安心安全な食堂となるよう最優先に改修してほしい。</li> <li>・知的障害の特別支援学校でも、車いすの子供が動きやすいよう、校舎のバリアフリー化などの対応を充実してほしい。</li> </ul>	<b>医療的 ケア</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケアが必要な子供について、保護者の付き添いを減らすことができるよう、学校看護師の配置など、必要な支援をしてほしい。</li> </ul>	<b>インクルー ーシブ 教育シス テム</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害のある子供と買い物をしている際、好奇の目を向けられることがある。障害のある子とない子が長期的に一緒にいることで理解が深まると思うので、居住地校交流の回数を増やし、継続的に実施してほしい。</li> <li>・小学校や中学校等の授業の中で、いろいろな子供たちがいることを柔らかに伝えていくことも大切である。</li> </ul>
<b>通学</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校に送迎をしている保護者がいるが、兄弟姉妹の保育園への送迎が必要な方もいるので、スクールバスの拡充をしてほしい。</li> </ul>								
<b>施設設備</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食堂棟が狭く、老朽化している。全員が使用するものなので、アレルギー食等の対応がきちんとでき、子供や保護者にとって安心安全な食堂となるよう最優先に改修してほしい。</li> <li>・知的障害の特別支援学校でも、車いすの子供が動きやすいよう、校舎のバリアフリー化などの対応を充実してほしい。</li> </ul>								
<b>医療的 ケア</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケアが必要な子供について、保護者の付き添いを減らすことができるよう、学校看護師の配置など、必要な支援をしてほしい。</li> </ul>								
<b>インクルー ーシブ 教育シス テム</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害のある子供と買い物をしている際、好奇の目を向けられることがある。障害のある子とない子が長期的に一緒にいることで理解が深まると思うので、居住地校交流の回数を増やし、継続的に実施してほしい。</li> <li>・小学校や中学校等の授業の中で、いろいろな子供たちがいることを柔らかに伝えていくことも大切である。</li> </ul>								